

商品開発力を生かして 社会貢献も



企画力
自信有
オリジナル
ワン技術
メイドイン
ジャパン
量産
対応

ゴムバンド、ガゼットネットなど同社製品

業務内容 ベトナムとの縁で 生産拡大

野菜や果物などを入れるガゼットネット製袋機を野田鉄男社長が開発したのを機に設立。野田社長が自宅でベトナム人留学生のホームステイを長年受け入れている縁で、製造をベトナム企業に委託。以後、ゴムバンド製造などベトナムでの事業を拡大してきた。特許を取得しているガゼットネットのほか、ポリエチレン袋、メリヤスネット袋、遠赤外線効果で野菜などの活性を保持する防曇袋、ゴムバンドなどを販売している。

強み オリジナル商品を 相次いで開発

独自の開発力が同社の強み。特許を取得したガゼットネット自動製造装置は、従来のネットを折り込み加工し、ガゼット（マチ）を付けることができる。手提げできるガゼットハンドネット自動製造装置も開発した。ガゼットネットの長所は口開きが良く中身を詰めやすいのに加え、カラーデザインも豊富にそろえ、おしゃれなラッピングが可能になった。同社では従来の果物、野菜以外に、ワインボトルや花束、鉢植えなどのギフト用ラッピング資材としても提案している。環境配慮型商品として、別用途でのリサイクルも可能なガゼットネットの特徴を打ち出しているほか、焼却時の二酸化炭素（CO2）排出を抑えられるメリヤスネットも開発した。添加する炭酸カルシウムの形状、量を工夫することで、伸縮機能を維持しつつCO2排出を低減した。

社会貢献 障害者の自立支援に 取り組みむ

平成25年から社会貢献のため、門真市の社会福祉団体と連携して障害者自立支援の取り組みを始めた。当初は障害者を雇用する就労継続支援A型事業所認定を目指したが、建物の問題をクリアできずに断念。ゴムバンドの袋詰め作業や自社オリジナル製品づくりを障害者の協力を得て行う仕組みを構築した。社内のスペースを開放して、障害者がゴムバンドの袋詰め作業などを行っている。

今後の展望 自立支援の 成功モデルに

野田社長は「障害者の自立支援で作ったモノを採算に乗るようにして、支援事業を拡大していきたい」という強い思いを口にしている。単に仕事を与えるだけではなく、製品に競争力をつけて価値を創出していかねば、長く続く仕組みにはならないからである。コストを抑えつつ魅力的な商品を創り出すことや販売先の確保など、容易にできることではない。だが、「当社が扱う商品は安全で消耗品であり、障害者の仕事に適している。可能性は十分にあり」と自信を示す。成功モデルを作り上げて、同様の動きを他企業にも広める夢が広がっている。



本社工屋

COMPANY PROFILE 有限会社アイ・ネット

大阪25

当社の歴史

平成13年にガゼットネット製袋機の開発を始め、平成14年度大阪府技術向上奨励費補助金に認定されました。平成14年、ベトナム・ハノイで包装用ネットの製造を開始、平成15年に会社を設立しました。平成20年、ベトナムからゴムバンドの輸入を開始。平成22年、中国でメリヤスネットの製造、輸入を開始しました。平成25年7月から、障害者の自立支援のため、当社スペースを開放し、オリジナル製品づくりを始めています。

商品開発を目指す。少しでも社会に役立ち、特に障害者の自立支援に協力する。

代表取締役 野田 鉄男さん



■主な事業内容
包装資材の製造・販売、
輸入販売

■主な取引先（納入先）
包装資材卸問屋1次店、
2次店、小売店

住所／〒571-0053
門真市泉町
1-23
TEL／06-6900-5327
FAX／06-6900-4157
創業／平成13年4月
設立／平成15年1月
資本金／300万円
従業員／5名

<http://www.ainet.co.jp>